

山陰海岸ジオパーク国際学術会議

「城崎会議」を開催!

10月26日(土)

10月26日・27日、城崎温泉街などで、山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」(山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」実行委員会主催)を開催しました。

「自然の恵みと災害」をテーマに、国内外からジオパーク関係者、研究者、ガイド、市民など約150人が参加しました。基調講演(同時通訳付)や研究報告、総合討論などが行われ、ジオパークを通して防災教育などの意見が交わされました。

《問合せ》大交流課 ☎21-9016



▲主催者を代表し、金澤和夫兵庫県副知事のあいさつで会議がスタート

■取組状況

○「山陰海岸ジオパークの

災害と暮らし」

先山 徹さん(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)

山陰海岸ジオパークでの災害復興を示すジオ遺産や人の暮らしなどが発表されました。



▲災害と人の暮らしとの関わりを発表

北但大震災(大正14年)からの復興時に、延焼を防ぐために、街にコンクリートの建造物を配置した「火伏壁」の取組みなどの実例が紹介されました。

■基調講演

○「欧州ジオパークにおける

自然環境リスクの段階区分」
チャラランポス・ファソウ
ラスさん(ギリシャプシロ
リティスジオパーク)

ギリシャなどヨーロッパのジオパークで実施している防災教育の取組みなどが発表されました。



▲欧州のジオパークでの防災学習の取組みを発表

ヨーロッパのネットワークを活用した移動式の展示や、共通で使えるパンフレット、教材の開発などが紹介されました。また、地震模擬体験装置や教育用の地震計を使った体験学習のほか、地震や火山に関するDVDやテーブルゲームなどを教材に用いた授業が行われていることも報告されました。

○「ジオパークにおける自然

災害(ベトナムの保護地域と関連活動」
ルオン・ティ・チュアット
さん(ベトナムドンバン・
カルスト高原ジオパーク)

災害にまつわる伝説や伝承による防災教育の取組みが発表されました。



▲ベトナムの伝説や伝承による防災教育を発表

ベトナムは台風などの豪雨や川の氾濫など、自然災害が多い国です。地域で語り継がれている洪水などの伝説や伝承には、科学的根拠も含まれており、防災に生かす取組みが紹介されました。

例として、かつて竜が怒って洪水を起こした伝承が挙げられました。

■招待講演

○「自然の脅威:ジオパーク

【で災害を語る】

中田節也さん〔JGC〕※
委員・東京大学地震研究所
○「悔しさと勇氣と知恵を語り継ぎ、ジオを読み解き、備えにつなげる」

中川和之さん〔JGC委員・時事通信社〕

招待講演では、自然の恵みを学びながら、災害を学ぶ重要性が、事例を交えて発表されました。

ジオサイト(見どころ)をめぐるツアーを楽しみ中で、防災対策へのきっかけを学ぶことなどが提言されました。

■研究報告

市内小学校児童、県立豊岡高等学校生徒の学習報告や、三陸ジオパークなどの関係者が災害の記憶を後世に伝える取組みを発表しました。

○「ふるさと再発見！」

ジオパークに学ぼう！

太田凜音さん(田鶴野小学校)、宇川和洋さん(竹野小学校)、西垣映良さん(清滝小学校)

玄武洞公園、竹野海岸、神鍋高原のジオサイトの特徴を調べた成果を発表しました。特に、地質地形と文化、人々

の暮らしとのつながりまで調べた内容は、まさにジオパークの本質を突くものでした。

玄武洞公園 玄武岩が、瀆物石や城崎温泉を流れる大谿川の護岸に使われている

竹野海岸 かつて瀬戸内海と日本海を往来していた北前船の寄港地。地元の相撲大会へのつながり

神鍋高原 神鍋山に降った雨が、山のふもとでわき水となり、マスの養殖などに使われている



▲小学生の学習報告

また、竹野海岸にある甌穴(ポットホール)は、神鍋溶岩流にも見られることなどを通じて、3つのジオサイトを調べて「違うところばかりだ」と思っていたが、共通点があっ

た」との感想も述べられました。

■ポスターセッション

会場内では、ジオパークについて、防災、保護保全、ガイド、食など、いろいろな角度からの研究報告がポスターとして掲示されました。



▲研究報告をポスターで掲示

保護保全では、県立豊岡総合高等学校インターアクトクラブの清掃活動などが報告されました。ポスター前では内容の意見交換や、参加者同士の交流が行われていました。

■総合討論

「自然の恵みと災害」をテーマに、三田村宗樹さん(山陰海岸ジオパーク推進協議会学術部会長)がコーディネーターを務め、西村 肇さん(但馬豊岡観光協議会会長)や、

JGC委員、大学教授らが熱い討論を繰り広げました。



▲総合討論

■交流会

会議後は、参加者同士で交流を深めました。その後、玄武洞ガイドクラブが実施している「玄武洞のライトアップ」を見学しました。



▲玄武洞のライトアップを見学

※玄武洞ライトアップは11月30日まで

10月27日(日)

■現地見学会

本会議のテーマを体感するツアーとして現地見学会を行いました。国内外のジオパーク関係者や市民の方など、30人が参加しました。



▲現地見学会(城崎温泉街)

現地ガイドが、城崎温泉や田結区の北但大震災の復興の歴史などを説明しました。市街地の震災復興建築群の見学では、県立豊岡高等学校生徒による説明が行われ、国外ジオパークの方に対しては英語で説明がありました。